

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (10時25分)

引き続き一般質問を行います。

受付番号第2号、田代実君の一般質問を許します。登壇願います。

8 番 田 代 それでは、議長の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。受付番号第2号、質問議員、第8番 田代 実。件名、市街地再開発事業に係る都市計画決定等について。

要旨。現時点の計画では、新松田駅北口地区市街地再開発事業に係る都市計画決定は令和7年11月に、再開発（マンション他）の工事は令和10年5月に着工して、11年12月に完成とのことですが、次のことについて町長にお伺いします。

(1) 再開発は地権者や県との様々な調整があることから、当初計画より延伸している。最大で何年の完成を見込んでいるのか。

(2) 再開発ビル等の建物の他に、駅前広場や自由通路などに係る町の工事負担額は、10億6,000万円から33億6,500万円に増加したので、23億500万円増加しています。総工事費147億6,000円に対して、町の財源は23%になり、今年度の財政運営が懸念されます。影響についてどうなのでしょう。

それで、3点目の質問なんですけれども、これについて一般質問の締切りが5月19日でした。それで、22日に臨時会が開かれて、自粛条例が廃止となりました。そのようなことから、少し文章を変えさせていただいて朗読させていただきますので、御承知おきください。

(3) 再開発事業は4年ほどの歳月を要し、町の未来がかかる最大の事業です。一方、町長が定めた多選自粛条例は、5月22日の臨時会で廃止となりました。町長の任期は9月ですので、4期目の立候補についてどのように考えるか。

この質問に対して、計数、または詳細は、担当課長からお願いします。政策、また3番目のことについては、町長に回答をお願いします。私の質問は、3番目は1番、2番に非常にかかっておりますので、詳細のお話をこれから聞いた後に、その後、町長、最後のお答えをお願いいたします。初めに前半戦

でいろいろやらせてください。

ですから、今回の回答は、1番、2番ということで、よろしく願います。順番がありますので、よろしく願います。これは私からの要望でございます。

議 長 よろしいでしょうか。

町 長 ということで、田代議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

まず、新松田駅北口市街地再開発事業の進捗状況を申し上げます。現在、新松田駅北口地区市街地再開発準備組合にて、事業性及び地権者の協議状況等を踏まえ、市街地再開発事業の都市計画決定区域について、検討・協議を行っているところであり、6月中旬に開催予定の準備組合の総会にて、施行区域を定める議案の上程を予定されており、議決されれば、その後、町へ都市計画決定に向けた要請がされるものと伺っています。

この要請を受けた場合、町行政として総合的に新松田駅周辺の将来の在り方を判断した後、速やかに都市計画法に定める手続を開始し、町民説明会の開催や都市計画審議会における審議など、法に基づいた手続等を経て、11月に都市計画の決定を目指しておるところでございます。

それでは、1つ目の御質問にお答えをいたします。新松田駅周辺整備事業は、平成31年3月（基本構想・基本計画策定時）にお示しをしたスケジュールでは、令和8年度に完了を予定しておりましたが、令和元年度から始まった新型コロナウイルス感染症等の影響により、約3年遅れにて進捗しているところでございます。都市計画決定後においては、令和8年度に本組合の設立、令和9年度に権利変換計画の認可など、事業の実現に向けて、より具体的となる段階において調整事項はさらに多く、複雑となっていくことを想定しています。

また、地権者との調整については、事業協力者である株式会社マリモを中心に、事業検討エリア内の地権者40人のうち、現在は33名で構成されております準備組合にて、議論や理解を深めた中で調整を図ることとなり、さらには、本組合設立や権利変換計画の認可権限を有し、国とのパイプ役を担われる神奈川県においても、法的な側面から事業実施への御指導を賜り、補助金等の財源確

保もしっかりと調整しているところでございます。

「完成を見込んでいる時期」につきましては、今後もこうした高度な調整・対応をクリアしながら、現在、お示ししているスケジュールどおり、事業完了を令和11年12月、まちびらきは令和12年1月を目標として取り組んでいるところでもあります。

続きまして、2つ目の御質問にお答えをいたします。町の財政負担増に関しましては、毎年3月定例会の全員協議会にて試算内容をお示したとおり、総事業費147億6,000万円のうち、事業施行者である組合負担と国・県補助金を除いた町負担額は33億6,500万円を見込んでおります。

その内訳を申しますと、ペDESTリアンデッキを含む駅前広場や道路の整備に要する経費として約15億500万円、再開発ビル内の通路やエレベーターなどの共用部の整備に要する費用の一部を対象とした補助金として約11億8,000万円、新松田駅の橋上改札設置に要する経費として約1億9,000万円、子育て交流施設を検討している公益的施設で約3億9,000万円となります。

財源といたしましては、今年度末に10億円となる積立の基金を充て、残り約23億6,000万円は借入れとなる起債を予定しています。

以上、試算額につきましては、町の将来財政推計に算入し、再開発事業にて町が負担する年度ごとの事業費を支出に組み入れ、全体の収支計算を行っており、その上での現在の推計においては、後年度の財政運営に影響がないことを見込んでおりますが、そこには、私が今までやってきた実績と経営感覚をもって行政経営を行った場合でのシミュレーションとなっていることを申し添えておきます。

最後に3つ目になりますけども、先ほど言われたような対応をさせていただきます。

以上でございます。

8 番 田 代 では、1番から順に詳細について質問させていただきます。予定どおり、令和11年に完成して、翌年の12年1月、これはまちびらきというふうな回答でした。

その説明の中で一つ気がかりな点について、担当課長にお尋ねします。この今の回答の中では、準備組合から本組合設立、これが一つのポイントになるのかなど。それと本組合を設立しましたら、再開発ビルの工事着工をするのに向けて動き始めると。そのような中で権利変換、こういったものが少し時間がかかるのかなど。組合の内部の部分については、詳細は私、質問するつもりはございませんけれども、今、工事費がかなり高騰しております。そういったものも反映した中で、権利変換、この計画を認可してもらわなければいけないと。

ここで担当課長にお尋ねするのは、ここに少し時間がかかるのかなど。私個人的には、12年1月、まちびらきというふうなことで目標を立てていますがけれども、ここで少し延びて、1年ぐらい遅れるのかな。延びて13年1月まちびらきだと思うんですけども、この辺について、今現在の状況を踏まえて、担当課長に回答をお願いいたします。

まちづくり課長     それではお答えをさせていただきます。

今、御質問にありました準備組合から本組合への移行ですね、これというのはやはり相当にいろんな調整事項がございます。前提として違いますのは、今、準備組合は、いわゆる本当、任意の組織ではあります。ただ、本組合になっていくと法的に位置づけられていくものも含めてということになります。

この本組合設立には、やはり3分の2の、法律では3分の2以上、権利変換というお言葉もありましたけども、このタイミングでも3分の2以上、この同意が前提となります。今現在でもこの3分の2というのは一つクリアできる部分はあるのかなというふうには考えますが、やはりこの事業を進めていくに当たっては、より多くの方の御同意が必要となります。やはりそういった方々にしっかり御説明と御理解を少しでも多くいただいて進めていかなければならないと。

こういった面で、1年単位で遅れるかということのお話もありましたけども、まずそうならないように、今現在から都市計画決定のこの段階から、まだ確定したものではない計画であっても、いろいろ御説明を申し上げて、御相談

しているという状況でございます。

8 番 田 代 回答ありがとうございます。先ほど課長からお話があったように、本組合を設立するには3分の2と。今現在40人のうち、地権者ですね、権利者が40人のうち33名が準備組合に入っておられるということは、この方たちは賛同していただけるのかなと勝手に考えています。

8割として32人ですからね、法律的には本組合設立できると思うんですけど、やはりこういった事業については、慎重に対応して、極力多くの権利者に加入していただくよう努力していただきたいと思います。

私は議長と一緒に松田町の都市計画審議会に入っております。担当課からは、6月の23日から27日の金曜日の間に1回目の再開発に関する都決に向けての審議会があるように私はっております。ついに動き始めたのかなというふうに感じております。とにかくうまく進めていただきたいと思います。

次に2点目です。2点目の質問、これについては、町の工事負担金33億6,500万、この財源が新松田駅周辺整備事業基金とあとは起債ですね、これで対応するという認識しています。

その詳細について、要は33億6,500万、町の財源を使うということで、詳細について、鈴木参事のほうお尋ねします。一応私もざっくりですけど自分なりに調べたところ、令和5年決算、この新松田駅周辺整備基金5億5,855万円で、6年度予算の積立金、当初予算で5,000万で、7年度の予算では3億3,200万というふうに計上されています。これは、私の手集計で9億4,055万円なんですよね、この全部の積立額が。

一方で、3月5日の全員協議会で示された財政推計②の1になります。ここでは令和7年から11年までの繰入金の合計額10億8,800万です。この差が、1億4,745万、約1億5,000万ほどあるんですよね。

これについてはあくまでも私が机上で調べた範囲ですので、この辺について確認ということで、この数字でよろしいのか、または私が積み上げた数字が誤っているのか、その辺についてまず回答をお願いいたします。

参事兼政策推進課長 それでは、田代議員の御質問にお答えをさせていただきます。まず、令和5

年度の決算額につきましては、5億5,855万6,000円でございます。そして6年度において当初予算の積立額が1億5,001万1,000円、

8 番 田 代 もう一度。

参事兼政策推進課長 1億5,001万1,000円でございます。そして3月にも補正を行っております。これが7,000万円。合わせますと2億2,001万1,000円になります。6年度に取崩しが2,753万円がございます。これらを差し引きますと、6年度末の見込みで7億5,103万7,000円。令和6年度末の見込みでございますが、駅の基金が7億5,103万7,000円となります。そして、7年度財政推計のまず2枚目の2に記載をされております当初予算に3億3,200万円を積み立てることが一つあります。そして、取り崩しが①に記載あります、8,200、これ8,200万という数字なんですけど、8,227万8,000円。これをですね、総額で見ますと、総額が10億759万円。これが7年度の見込みとなつてございます。そしてですね、先ほどの7年度以降の10億800万ほどの繰入が必要ですよということなんですけど、7年度末に10億700万ございますので、8年度以降に必要な繰入額は10億600万円になりますので、町の方の推計ではそのようにしておるところでございます。以上です。

8 番 田 代 丁寧な説明、ありがとうございました。補正と取り崩しまでちょっと見切れなかったんで、今の回答、10億715万ですよ。それに対して、財政推計では10億8,800万ですから、大体突合しているということで理解いたしました。この財源が本当に一般財ですからね、すごい大きなポイントがあるのかなというふうに考えております。

あと、次の質問なんですけれども、平成7年度の予算3億3,200万。これが予算書にも計上され、財政推計でも示されています。財政推計の2-2、この中に、令和6年、7年度の積立額の合計が5億5,200万なんです。それに対して、いいのか、これはこれで増えたからいいんだ。ごめんなさい。これは先ほどのあれで増えて大体同額になるということで理解します。

平成7年度のね、予算の3億3,200万ですか、これを積み立てるとということなんですけれども、一般論、通常ですと、前年度の繰越金にゆとりがあった場

合に基金に積み立てると。町長も冒頭そのような少し余裕があるような説明されたんですけども、今までの額と違って、3億3,200万というのはかなりの額なんですけど、どのようにこれは捻出されるのか、その説明をお願いいたします。

参事兼政策推進課長 御質問にお答えをさせていただきます。

令和7年度予算でございますので、こちらは町の全体の総額の予算、もちろん駅については必要な10億700万を確保するために、今回3億3,200万を予算計上させていただきます。そうした全体のバランスを見るために、令和7年度は、財政調整基金を全体のバランスで4億3,000万ほど切り崩しております。これは駅のためじゃなくて全体のバランスの中で繰り入れているということがございますので、そうした形で予算を計上させていただいているところでございます。

以上です。

8 番 田 代 3億3,200万、これについては繰越分の一部と、あと財調4億を切り崩した一部という回答なんですけども、大体予定としては、繰越金と財調の切り崩した額、その内訳についてはどのように考えているのでしょうか。

参事兼政策推進課長 そうですね、この3億3,200万円に充当するというのを、というか、町が必要な部分が、3億3,200万円が基金に積立が必要だということがございましたので、その予算を全部の計上したときに必要な額として財調から4億3,000万ほど崩していただいて、充当という言い方はちょっと言えないのでやっているというところで御理解ください。

田代議員も財政のほうは御存じだと思いますので、基本的に財政調整基金をそのまま駅の資金に充てることはできないんですね。目的を持ってやっているもので、あくまでも、まず財政上で新松田駅の基金として、将来に向かって10億700万ためるためには、今回3億3,200万円必要だということで、まず予算を計上。そしたら、いろんな事業をやるに当たって、そこでどうしても足りない部分、ここを財調で4億3,000万円崩して事業を執行するというところで御理解ください。

以上です。

8 番 田 代 含みを持った回答をそれなりに理解したつもりです。その質問についてはこれで終わります。

次に、財政問題なんですけれども、一つの考えとして、財政の余裕度を示す経常収支比率、このことについて、引き続き鈴木参事にお伺いします。

人件費など必要経費が一般財源に占める割合を、経常収支比率ということ、80%位以下が一番理想的だと、そうすると残りの事実20%で市町村独自の単独事業ができると。または、補助をもらってもそれに上乗せする額が多くなると解釈しています。5年度の決算、これ全国のレベルで見た内容で全部で1,727市町村、今あると思います。その中で955市町村が約6割近い55%ぐらいになると思うんですけども、90%以上が経常収支比率になっています。どこも本当にやりくりが厳しいと、80%ぐらいが理想なんですけれども、実態は90%以上だそうです。

この中でね、今現在、松田町の場合に、少しさかのぼって、令和5年度決算のときの経常収支比率、それと今回5年度決算も出ていますから、6年度は多分無理だと思うので5年決算の経常収支比率。

最後が、今回の新松田駅北口地区の市街地再開発事業が11年度か12年度には延びてもそのくらいには終わるだろうと。要は、市街地再開発事業が完了した頃の経常収支比率、これについて可能な範囲でお答えをお願いいたします。

参事兼政策推進課長 御質問ありがとうございます。

まずですね、経常収支比率、先ほどもですね、議員のほうから御説明あったとおり、いわゆる地方税とか地方交付税、また譲与税、交付金、これが経常的な一般財源でございます。これがどの程度、経常的な経費、これがですね、人件費、扶助費また公債費等にどれだけ充当させているかという計算でなるものでございます。神奈川県令和5年度の平均を見ますと、これ93.6%でかなり特に高い比率になっております。特にですね、三浦市なんかでは100%を超えているという状況、近隣でもですね、90%を超えている市町村もございます。

そうした中で、松田町においては、令和5年度の決算、経常収支比率は基本

決算のときに出す数字なので、89.3%でございます。5年前の、例えば令和元年度が88.9%、5年前が88.9%でございます。これをですね、先ほど議員おっしゃった11年度決算がちょっと出ていないので、予算ベースで例えば積算しますと、恐らくそれより5%ぐらい落ちる。決算で必ず落ちるんですね。なので、予算ベースでいきますと、97%ぐらいまでは上がるという今、推計をしておりますので、これが決算のときに必ず余剰金等も含めますので、5%以上落ちてくるという状況になりますので、100%をですね、超えるには至らないというように私は考えております。こうした財源もですね、今いろんな政策、これはまた後でなんですけど、政策をもって補助金の獲得とか、町税についても例えば駅をやったことよっての固定資産税、町税等、いろいろあるので、そうした部分を今後ですね、経常収支が高くなったとしてもですね、そういう部分に取り組んでいくというところを、財政の方としては、考えております。

以上です。

8 番 田 代 ただいまの経常収支比率に関する回答、ありがとうございます。

おさらいなんですけども、元年が88.9%、5年決算が89.3%、約89%前後というふうに解釈します。それで今度はこの大事業をやった場合に、予算ベースで97%ぐらいかなと、決算だと落ちるということで5%落ちて92%ぐらい、あくまでもね。それは結構ですよ、無理な質問だったので。そういったことで、先ほど町長から回答があった、来年、今年度の財政運営、これには影響が少ないだろうと、今現在は理解させていただきます。

前段の1番、2番終わりましたので、これを踏まえて、町長、3番のほうについて。

思ったより早くスムーズに進んだので、早く終わる分にはよろしいかと思えますので、そういうことで町長、よろしくをお願いします。

町 長 さっきの質問は4年を要するけども、松田町の未来を、4期目の立候補の話ですけども。冒頭でもお話があったとおり、多選についてはですね、私もいいとは思っていない。それも公約ですので、公約をしっかりと守らなきゃいけないという思いは今でもありますし、ただ駅も含めて、町民のやっぱり福祉の増

進だとかということについても、様々な公約を掲げている以上、それも公約です。やめることでその公約が果たされるんだっただけいいですけども、そういうふうになるともなかなか思えないところもあって、だからといって22日に多選自粛条例が条例自体は廃止にされたとしても、それは表向きと言いましょかね、何と言ったらいいなだろうな、法的な話として。だから私自身が今現在、それに対していろいろ熟度を重ねていると言いましょかね、やっている途中ですので、今は駅周辺の再開発はやらなきゃいけないという思いはもう、いの一番にあります。あるので、ただ任期もまだもうちょっとありますから、その間、これから6月中旬に準備組合さんのほうで、何かしらの動きがあるということも踏まえつつ、適切なときにですね、4期目どうするのかとか、出るとか出ないとか、そういった話ということを確認にさせてもらいたいと考えています。

以上です。

8 番 田 代 今の前段でね、再開発事業をやった場合の経常収支比率、財政的にどうなんだと92%ぐらいだという話をしましたけれども、個人的にはもう少し上がるのかなという感じがします。

三浦とか、あと、ここで一つの例を出させていただきますけど、三重県の人口7万ほどの市、ここが、経常収支比率が100%近い状況になっているんですよ。皆さん御存じだと思うんですけど、企業の破産に当たる財政再生団体、これにも近づいてきて、すごい危ないということです。そういう中で三浦市もかなり政策を出しながら好転するように展開している努力を新聞報道で感じています。一旦そうなってしまうと、職員の給与の削減で、この三重県の人口7万の都市は、高齢者福祉バスの廃止、応急診療所の平日や土曜の夜間診療の中止、あともろもろの市単独事業、こういったものも廃止して、何とか経常収支比率を低くして、財政運営をやっていきたいということなんですけども、かなり前途多難だなと感じております。

先ほども申しましたとおり、松田町の場合、市街地再開発が無事に完了した頃、これについては92という話あったんですけど、ある程度高くなってしま

と。

一方で、再開発事業ですよ、今までもJR駅前の話が平成の前半に出ました。準備組合まで行ったんだけど、バブルの崩壊によって実施できなかったと。

今回は、建築費の物価高騰もありますけれど、順調にある程度ここですごくもう機が熟してきたと。で、コロナで3年ほど中断がなければ、多分、公約の3期以内で町長の立候補したときの公約は果たせたのかなと。それが、私はこのコロナの影響で3年半ぐらい遅れてしまったということで、今一番大事な再開発事業が動き始めています。これについては、やはりもう本当に町民にとってもすごい松田町に未来を与える事業である。でも一方で、危険な面もある。そのようなことで、町長がここまで動かしたんですから今、回答は保留になっているんですけども、ここでぜひ行ってほしいなど。

あと、私個人的には、町民の方が署名を集めて、自粛条例を議会で廃止になったんですけども、それとは別にやはり町長のお考えが一番大事だと思います。厚木市長も大和市長も3期で公約したんだけど、自分の任期が3期12年という公約で市長になったんだけど、まだここで中断したら、自分の理想とするまちづくりはできないということで、それを市民に問うということで、両市長、当選されております。ですからもう、まだ3か月あるという任期のお話されたんですけど、そろそろここで決断を、どうなのかなということで再度質問させていただきます。よろしくお願いします。

町長 まず、前段の経常収支比率のお話のことがあって、その90%ぐらいになるなということで、まずこの経常収支比率の分の話の中で、これが上がることによって、要は、新しい財源がなくなってくる、いわゆる新しい事業。だから、今までの事業がその100%ぐらい行って新しい事業をやりたければ当然だけでも、今の事業を先ほども言われたような格好でやめてでも新しい事業を突っ込んだりとかしていかなきゃいけないから100はという話になっているので、今のうちの財政推計上の多分課長から話があった92%というのは、現在の町民サービスを下げずに、の中で、あと8%分の予算を新しいものに突っ込めるよと

いう、そういう発想ですから、うちは100%になったところで、今の町民サービスが下がって、あれがなくなる、これがなくなるということは、今の現状のシミュレーションでは考えてないということでもあります。

それに、30年先の今のシミュレーションで言うそうですね、一方で、駅をやることによって高齢の負担が増えるんじゃないかという御心配されている方がどうもいらっしゃるようで、ここで話しておきますけども、現在のシミュレーションではですね、今、松田町に駅をやることによって約10億近い自己資金を先に投下をして、残りの23億を20年間で支払っていきこうというふうなことです。支払いにかかるお金については、今現在財調で9億ほど持ってます、自由に使えるお金。今日の一番初めに話をさせてもらったときに、今年でまた2億ぐらい積むことができそうなどころでもありますので、その2億をどこに使うか、また財調に戻すのか、駅に2億突っ込んで、あれして初期投資を21億に減らすのか。その辺をしながらやっていく予定で、最終的に30年後、後年度負担というか、今あるお金を支払いの中に回し込んでいくので、後年度の人たちに負担が行くということのシミュレーションはしていないということがありますので、そこはやっぱりきちっと理解をしてもらわないと、変なのが歩き回ってしまうとですね、せつかくの町民が望んでいる事業が途中で中断するということになれば、御存じのように、昨今の工事費はですね、長くなればなるほどコストが逆に上がってくるような傾向でありますから、長くしたときに、全体的に下がればいいですけど、それはもう100%、私のイメージからするとあり得ない。ということですから、変にその経常収支比率だけにとらわれることなく、町はそのような経営をしながら今、こつこつとお金をためてきているということ。それについては、議員の皆さん方にも説明しながら、毎回毎回の議会で基金に勝手に我々は積めないで、御理解いただいているものと思っています。そのような思いは今でもあるので、そのぐらいの気持ちがあるんなら、おまえ、やれよということが多分言われているのかなと思っていますけど、はい、切りましょう。

8 番 田 代 今年度の財政運営について詳細な説明、ありがとうございます。

自分なりに確認させていただくと、今、財調が13億少々あると、それを今回の7年度で4億円取り崩して9億になると、そういうことですね。もう一度戻して、7年度末には11億ぐらいにしたいと理解しましたが、それでよろしいですよ。

町長 今、そういう方向。

8 番 田 代 方向ね。はい。1つの話としてね、町長のね。

要は、30年先のシミュレーションですか、財政推計で25年ぐらい出ているんだよね。再開発事業による固定資産税が反映されるのも、私もざっくりは見ています。理解しているつもりです。出しっ放しじゃなくて、やはりリターンがあると。町税収入がやはり20年前に19億届かなかったのが、今16億いくかどうかということで、3億減っている。それは今まで何も政策的な、何もとは言いませんけれども、政策が弱かったのかなと。今回は再開発事業によって、ある程度収入を取るんだと、そういう姿勢というのはすごい感じています。

その中で、今回の再開発、ここまで町長が力を入れて取り組んでいるということで、最後に、町長の決意をお願いしたいと思います。

あと、蛇足ですけども、5月22日の自粛条例が廃止になった翌日の新聞報道、町長が新聞社の方にインタビューされたときの回答文を、私読ませていただきました。今回の廃止条例によって、気持ちが変わってきたと記載されていたようです。そういったこともありますのでね、ぜひ4期目についてお尋ねいたします。よろしくお願いします。

町長 記者さんのほうにはいろんな御質問されたので、やっぱり今回の22日の分についてはですね、非常にありがたいという話の中で自分の気持ちをお伝えしたのは確かでございます。それと、やはり記者さんからも言われましたけども、それは法律上の話であって、次に、御自身としてどうですかというお話があったので、このような話を受けて、今後自分の進退を考えなきゃいけないですよと言った部分が多分、心変わりが始まったみたいなことを書かれたのかなと思っています。それは今現在もいろいろ検討中ですので、その心変わりがどこで皆さん方に出る出ないを発表できるかどうかというのは、しっかりと見極

めてしかるべきときに田代議員の御期待に応えるかどうか分かりませんが、頑張ってまいりたいと思います。

以上でございます。

議 長 いいですか。

8 番 田 代 詳細な回答、ありがとうございます。

では、早い時期に発表されることを期待しております。もう時間がある程度なくなってきていますから、私のほうは時間いっぱいあります。町長の任期に対しての時間がなくなっていますので、やはり夢を持つ政策を掲げたのでね。そういったことで町長のはっきりした御決断を、近い時期に発表されることを期待して、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議 長 以上で、田代実君の一般質問を終わりにします。